

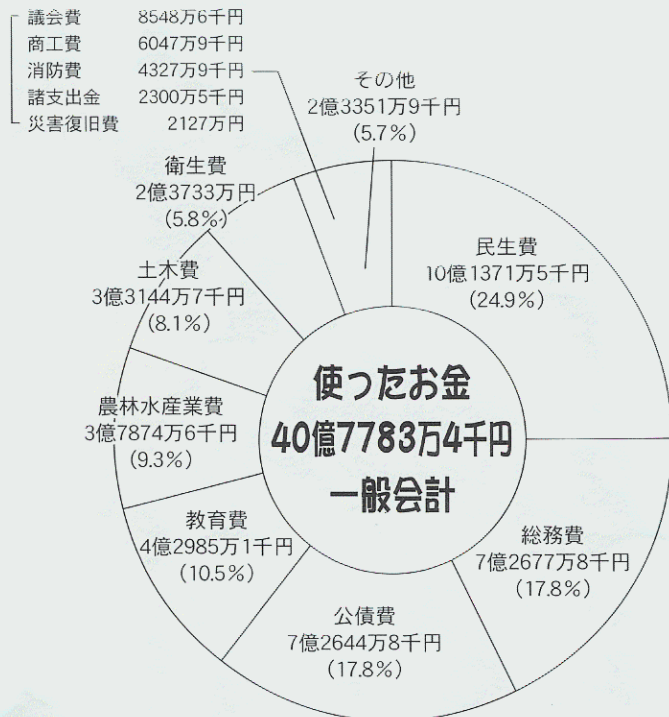
の財政事情

年度決算の概要一

町民1人当たりが負担した税金…… 87,456円
1世帯当たりが負担した税金…… 277,231円

町民税	固定資産税	軽自動車税	町たばこ税
			
28,471円	50,410円	2,265円	6,310円

※法人町民税と特別土地保有税を除く
平成16年3月31日現在の人口(9,028人)と世帯数(2,848世帯)で算出



一般会計は、みなさんに収めていただく町税や、国からの地方交付税などを主な財源とし、町の基本的な仕事を行うためのものです。

歳出は、大和保育所の改築と単町土木工事の実施、大山山麓土地改良事業の精算が行われ、米子市との合併協議の促進、戸籍総合システムの導入、福祉対策については支援費支給制度の導入による障害者対策の実施、介護保険・国民健康保険特別会計の安定化のための繰出金など町民生活の生活安定を図るための事業を実施し、前年と比べ1億24万4千円(2.5%)の増額となりました。

歳入歳出差し引き額から翌年度へ繰り越す財源を差し引いた実質収支額は、7019万8千円の黒字となりました。財政状況の厳しい中で、多様化する住民の要望に答えるためには安定した収入財源を確保することが最重要課題ですが、景気の回復は当分の間見込めず、安定的な税収の伸びは期待できません。また、国からの交付税は年々削減傾向にあり、収入財源の不足分は基金の取崩しで対処しましたが、これも限りがあり、一層の行政改革に努め歳出の削減を図らなければなりません。

町民1人当たり使われたお金…451,687円・1世帯当たり使われたお金…1,431,824円

◎土木費 3億3144万7千円 町道西原佐陀線 1687万9千円 道路橋梁維持 3162万8千円 町単独道路整備事業 4920万2千円 用悪水路改修事業 407万9千円 街路灯整備事業 364万4千円 河川維持・改修 469万4千円	◎衛生費 2億3733万円 塵芥処理事業 6921万7千円 し尿処理事業 4220万1千円 ごみ減量化等推進事業 633万1千円 老人保健事業 2808万7千円 予防接種事業 1144万1千円 結核予防事業 186万8千円 歯科検診事業 124万9千円 母子保健衛生事業 322万3千円	◎消防費 4327万9千円 消火栓設置 70万円 自衛消防施設設備整備助成 69万7千円 自衛消防団等の育成助成 80万円 町消防団活動費 881万4千円 アメダスシステム使用料 72万5千円 消防ポンプ車購入 1845万9千円	◎公債費 借入金の返済 7億2644万8千円 ◎議会費 8548万6千円 ◎諸支出金 積立て金 2300万5千円 ◎商工費 6047万9千円 商工振興 2700万1千円 観光振興 3347万8千円
---	--	---	---